

# エクセルアドインソフト「ベストポジション」 (Ver3.21)

操作説明書

## 【目次】

I. 概要	3
II. ディスプレイ間の配置移動	4
III. ディスプレイ内での配置変更	6
IV. リボン内のコマンドボタンの表示/非表示の切り替え	8
V. 設定フォーム	9
余白の大きさ	10
オープン時既定位置表示機能	10
ショートカットキー(ホットキー)	11
モニタ環境再取得	11
最少化戻り防止機能	11
VI. セットアップ	12
VII. 重要事項	13

# I. 概要

エクセルのブック画面の配置位置と大きさ、あるいはリボン内のコマンドの表示／非表示を瞬時に切り替えます。

## 【どんなことができるのか】

次の機能を持つショートカットキーをそれぞれ登録することができます。

- ①作業中のエクセルのウィンドウを別のディスプレイ側に移動します(マルチディスプレイご使用の場合)。
  - ・移動先は事前に設定してある位置や大きさで、それらは任意に変更できます。
  - ・このショートカットキーを連続して押下することで、左画面→右画面→左右全体→左画面 というように切り替えることができます。
- ②作業中のエクセル画面を同一ディスプレイ内で表示位置、大きさを瞬時に変更します。
  - ・①と同様に表示位置等は事前に設定し任意で変更できます。
  - ・このショートカットキーを連続して押下することで、設定値→上半分→下半分→左半分→右半分→設定値というように切り替えることができます。
- ③作業中のエクセルのリボンタブ部分にあるコマンドボタン類について、表示／非表示を切り替えます。

## 【どのような方が使用すると効果があるのか】

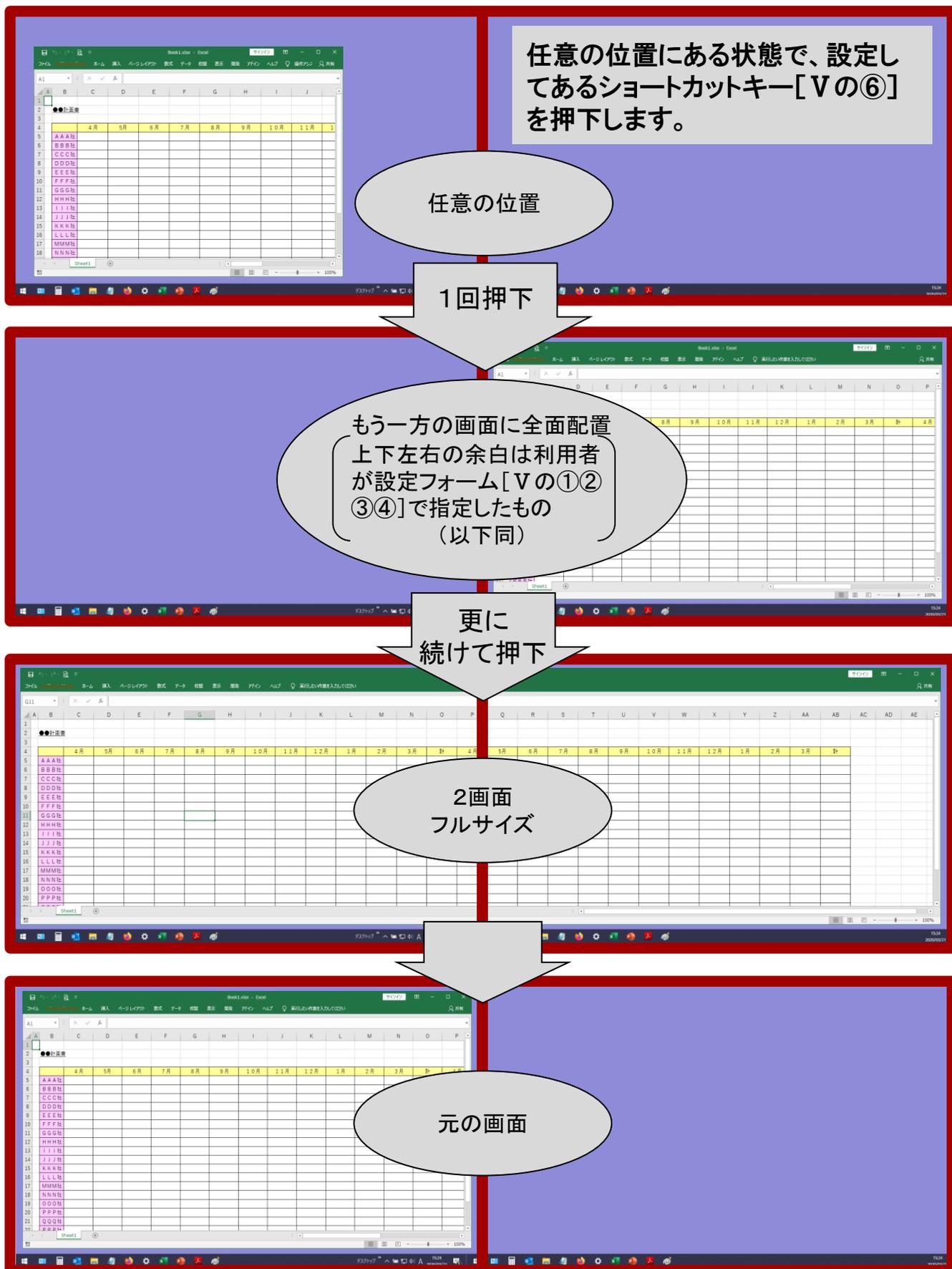
エクセルで一度に複数のファイルを開いて作業をする方で、特にマルチディスプレイ(デュアルディスプレイ、デュアルモニター、ツインディスプレイ、ツインモニター、マルチモニターなどとも呼称)をお使いの方には最適です。

## 【動作環境等】

- エクセルのアドインソフトです。
- 本体ファイル名「BestPosition.xlam」を変更してしまうと動作しません。ファイル名は変更せず、このまま使用してください。
- Windows版エクセル2019(64ビット版)、OSはWindows10で作成しましたので、同様の環境では動作するものと思われます。
- 同2016(64ビット版)も同様です。
- セットアップについては、本資料Ⅵをご覧ください。

## Ⅱ. ディスプレイ間の配置移動(Ⅰの①の動き)

(下図は、マルチディスプレイ環境でのイメージ)



<補足>

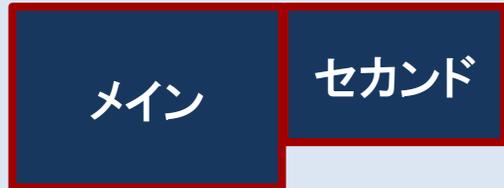
- ショートカットキーの連続押下は最初の押下から3秒を超えると、次は別画面配置となります。
- シングルディスプレイ環境およびマルチディスプレイ環境でメインが右側の場合は、この機能は無効です。
- 一部のマルチディスプレイ環境では配置位置(縦位置、幅)が正しく反映されません。具体的には下図を参照してください。

[ディスプレイの配置による動作の可否]

正しく動作する組み合わせ例



※メインの縦幅の方が小さい場合は上端を合わせる



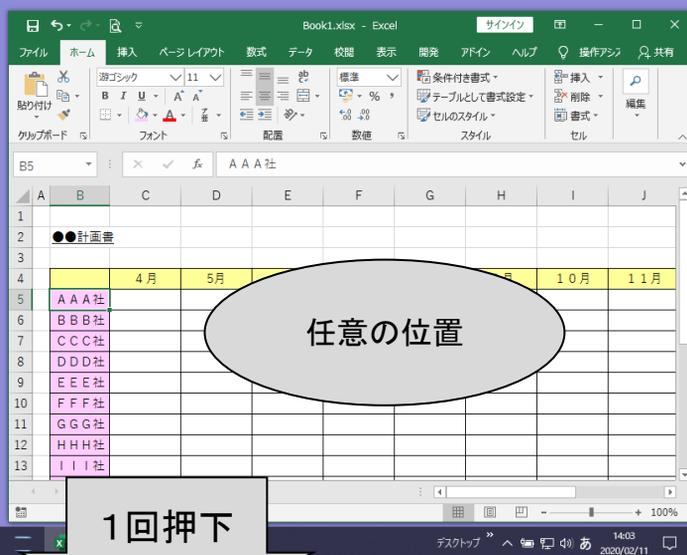
正しく動作しない組み合わせ例

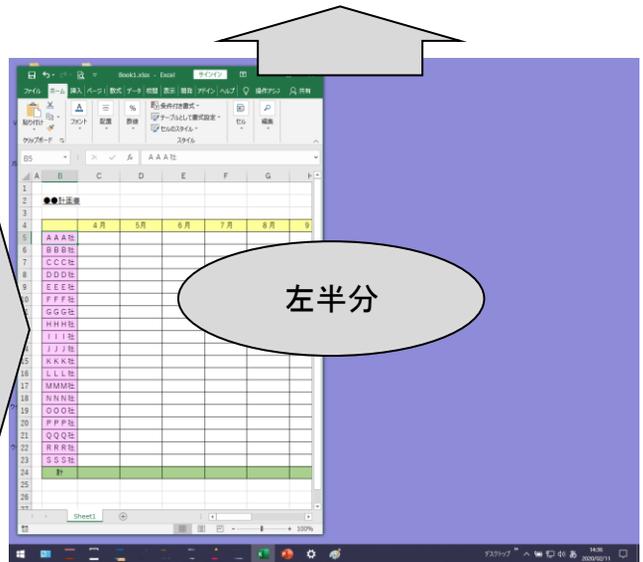
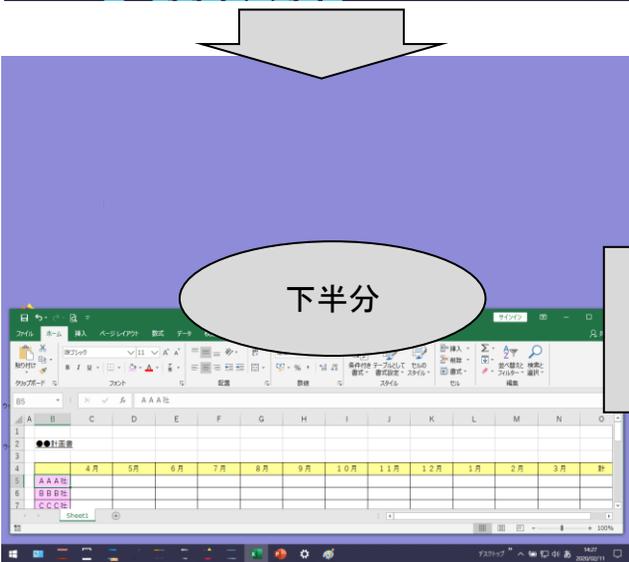
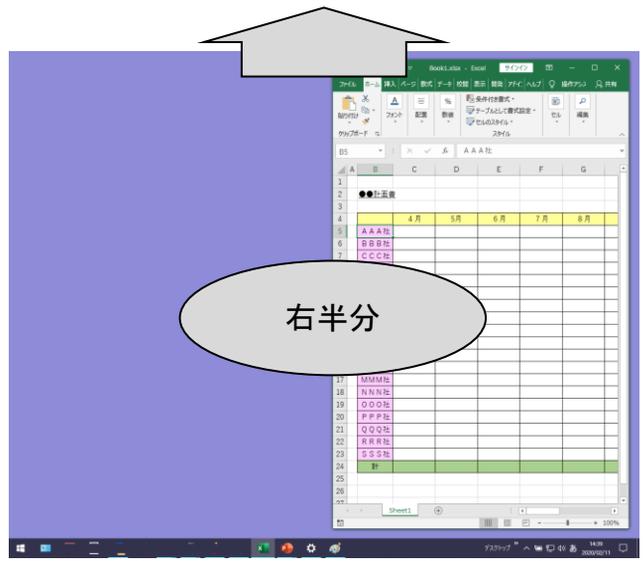
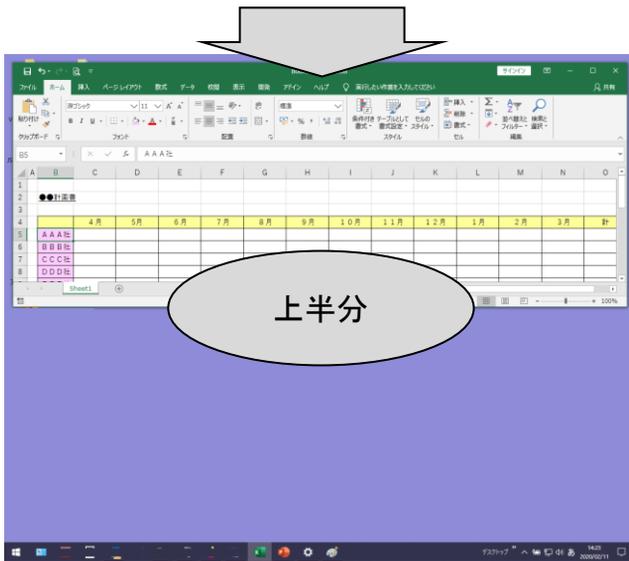


※メイン左端とセカンド右端が重なるのはNG

### Ⅲ. ディスプレイ内での配置変更(Ⅰの②の動き)

任意の位置にある状態で、設定してあるショートカットキー  
[Vの⑦]を押下します。



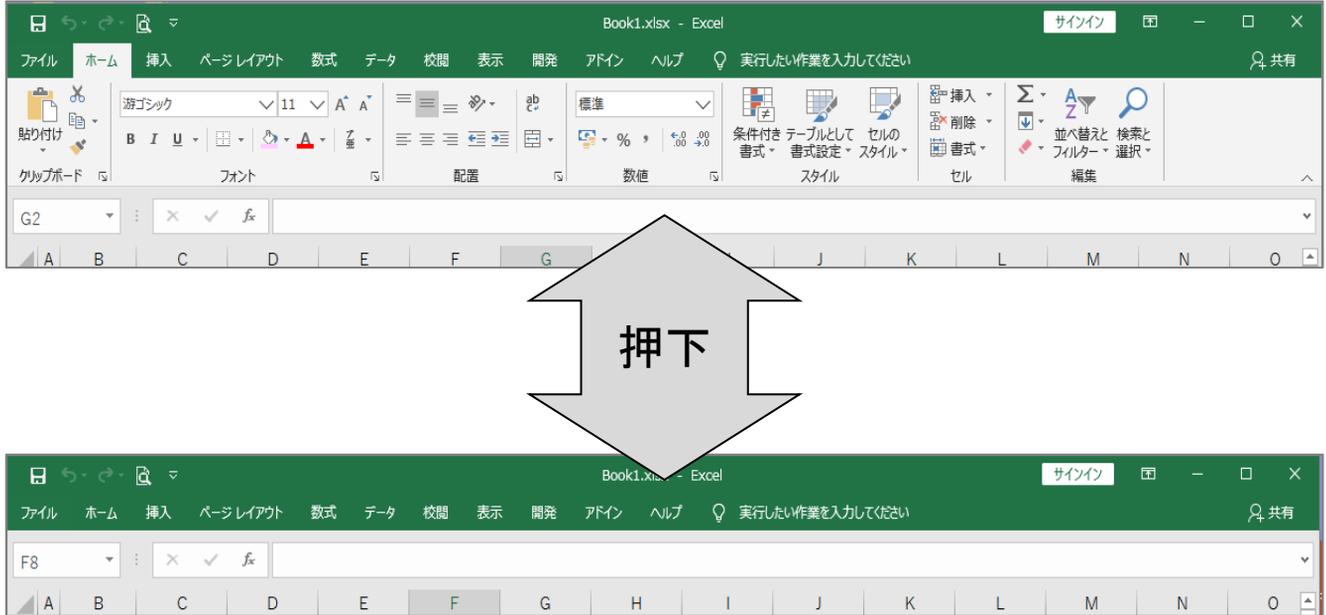


<補足>

- ショートカットキーの連続押下は最初の押下から3秒を超えると、次は全面配置となります。

## IV. リボン内のコマンドボタンの表示/非表示の切り替え ( I の③の動き)

設定してあるショートカットキー[Vの⑧]を押下します。



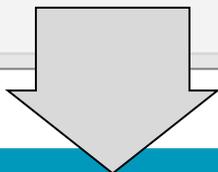
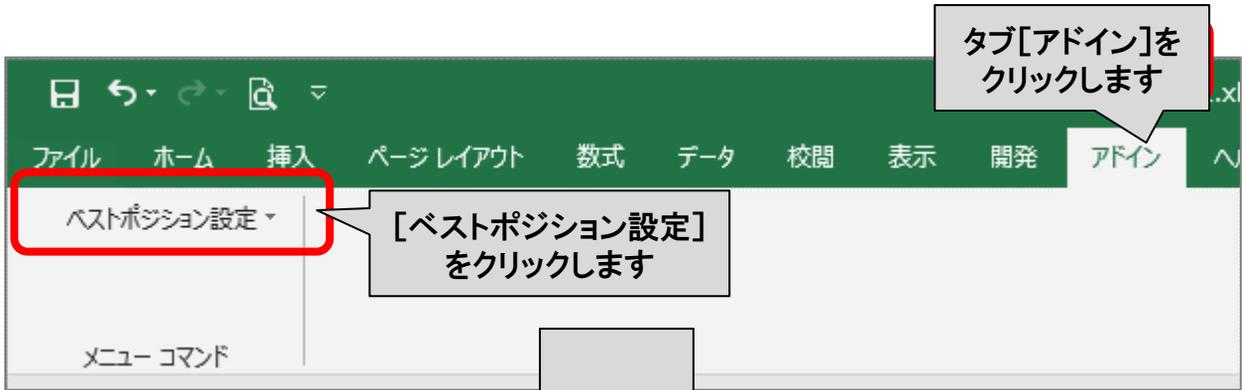
※エクセル2016、2019では、複数のエクセルファイルを開くとそれぞれの画面にリボンが表示されセルの領域の縦幅が狭くなってしまいます。そんな時にこのショートカットキー押下で瞬時にリボン内のコマンド部分が非表示になりますので、作業領域を拡大させることができます。

(注意)

ご利用様がもしエクセルのオプション画面で「リボンを自動的に折りたたむ」という設定をオンにしていた場合、この機能を利用するとその設定は自動でオフに変わります。

# V. 設定フォーム

エクセルのアドインタブをクリックしてメニューを表示します。



BestPosition Ver3.2

余白の大きさ(モニターのそれぞれの辺からの距離(mm))

上 5 ①

左 5 ②

右 5 ④

下 5 ③

保存せずに関じる

保存して閉じる

モニター環境再取得 ⑨

⑤ (メイン側)  
ブックを開いた時に上の設定位置で表示する

⑩ (2016)  
ブックを開いた時に最小化していたブックが表示されるのを防ぐ

ショートカットキー  
・いずれもCtrlキーとの組み合わせです(Ctrlキーのみの場合はE、J、M、Qが使用可)  
・Shiftキーを併用する場合はチェックボックスをONにしてください  
・次回エクセルを起動した時から有効となります

モニター間の移動 ⑥ (Ctrl +) Shift  + Q

モニター内の配置変更 ⑦ (Ctrl +) Shift  + Q

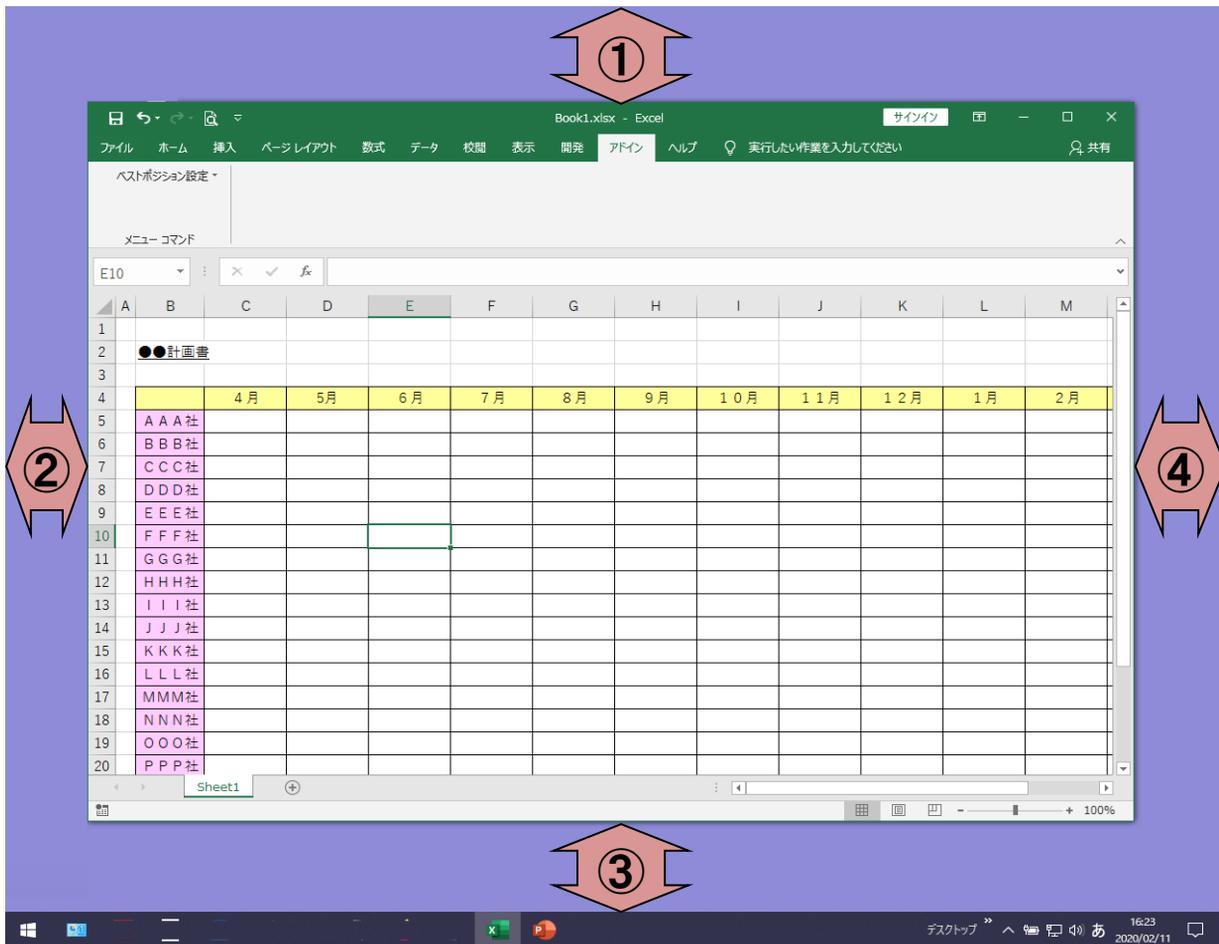
コマンドの表示/非表示 ⑧ (Ctrl +) Shift  + Z

(①~⑩の解説は次頁以降参照)

## 余白の大きさ

①②③④…エクセル画面の余白です。ディスプレイの上端、左端、下端、右端それぞれからの距離をミリ単位で指定します(タスクバーの幅は含めません)。

\* いずれも入力できる値は「0」から「99」の範囲内です。



## オープン時既定位置表示機能

⑤…ブック(エクセルファイル)を開いた時に、その画面を①②③④で設定した位置に配置する場合は、チェックボックスをオンにします。

また開いた時に常にメインディスプレイ側に表示する場合は、合わせて「メイン側」のチェックボックスもオンにします。(マルチディスプレイ環境の場合のみ有効)

※エクセル2016または2019では、直前の最後に閉じたブックがセカンド画面上であった場合、その後新たにブックを開くとセカンドディスプレイ側に表示される仕様になっています。このチェックボックスをオンにすることで、その現象を解消します。

## ショートカットキー(ホットキー)

- ⑥⑦⑧…順にディスプレイ間の移動、ディスプレイ内の配置変更、リボン内コマンドボタンの表示/非表示切り替えのためのショートカットキーを指定します。
- ・シフトキーを併用しない場合、使用できるキーは「E」「J」「M」「Q」のみとなります。(それ以外は既設のキーと重なるため不可)
  - ・シフトキーを併用する場合はチェックボックスにマークします。使用できるキーは任意のアルファベットです。
  - ・変更した場合、次回エクセルを起動した時から有効となります。

## モニタ環境再取得

- ⑨…エクセル作業中にタスクバーの位置や解像度の変更などディスプレイ環境を変えた場合にはここをクリックします。(通常はエクセル起動時に環境を自動取得します)

## 最少化戻り防止機能

- ⑩…作業中のブックすべてが最小化された状態で新たに別のブック(エクセルファイル)を開くと、作業中のいずれかのブックが元のサイズに戻ってしまうため、戻ってしまったブックを強制的に最小化します。この機能を機能にする場合は、ここをオンにします。また、この機能をエクセルのバージョン2016で使用する場合は、合わせて「2016」のチェックボックスもオンにします。

※エクセル2016または2019では、作業中のブックすべてが最小化された状態で新たに別のブック開くと、作業中のいずれかのブックが元のサイズに戻る仕様になっています。このチェックボックスをオンにすることで、その現象に対応します。

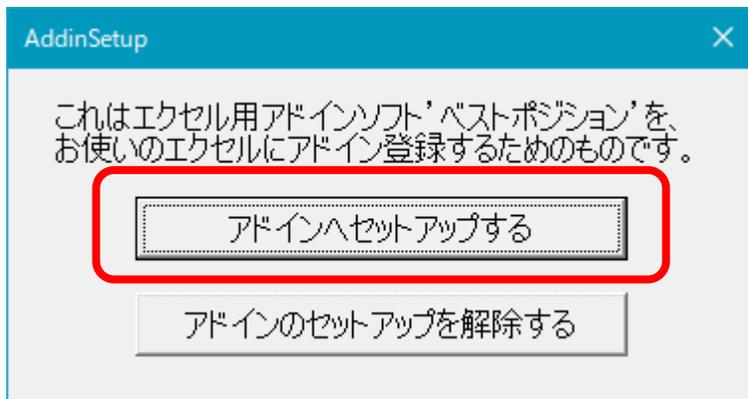
(注意)

- ・この機能は、その時の状態によって確実に動作しない場合がありますのでご了承ください。
- ・特に、開こうとしているブックのファイル容量が大きい場合は、その可能性が大です。
- ・またこの機能をマクロで実現させるためには、エクセルのバージョンによってエクセル内部での挙動のタイミングが異なるため、マクロ内での動きをバージョンによって変える必要があります。本来、マクロ内で動作中のエクセルのバージョン情報を得ることができればいいのですが、マクロの仕様上、バージョン2016と同2019の区別をつけることができません。よって、ご利用者様自らがチェックボックスでバージョンの申告をしていただく形をとらせていただいております。
- ・容量の大きいブックへの対応を2019ではマクロ化しています(それでも動作しない場合があります)が、前述したバージョンによるエクセル内部での違いにより、2016では技術的にマクロ化ができませんでした。ご了承ください。

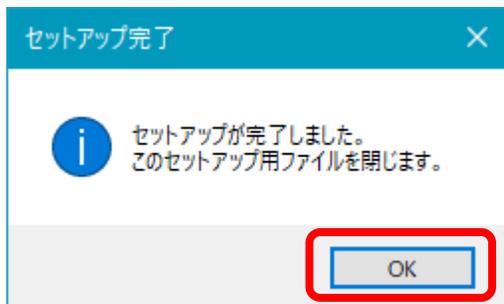
## VI. セットアップ

### 【インストール】

- (1) BesPo300.zipを適当なフォルダに展開してください。
- (2) エクセルが起動している場合は全て閉じます。
- (3) 展開したフォルダにあるインストール用ファイル「AddinSetup.xlsm」をダブルクリックします。(マクロの警告が表示される場合は[コンテンツの有効化]をクリックします)
- (4) 「アドインへセットアップする」を選択します。



- (5) 「・・・完了しました。・・・」と表示されれば終了です。[OK]をクリックしてください



### 【アンインストール】

- (1) エクセルが起動している場合は全て閉じます。
- (2) インストール時に使用した「AddinSetup.xlsm」をダブルクリックします。
- (3) 「アドインのセットアップを解除する」を選択します。
- (4) 「・・・完了しました。・・・」と表示されれば終了です。

※手動で実施する方法については、付属の「ReadMe.txt」をご覧ください。

## Ⅶ. 重要事項

### 【著作権、免責】

- 当ソフトはフリーソフトウェアとします。
- 当ソフト(セットアップ用を含む。以下同)の著作権は、開発者が所有します。
- 当ソフトの使用及びダウンロードは、ご利用者自身の責任において行ってください。
- 当ソフトを使用及びダウンロードしたことに起因する有形、無形の損害(当ソフトのバグによるものであろうとも)は、いかなるものも開発者はその責を負いません。また、これらを正常な状態に修正する義務も、開発者は負いません。
- 当ソフトの改ざん・変更等を行わないこと。
- 当ソフトを転載する場合は開発者に掲載および掲載内容に関する連絡が必要なものとします。
- 開発者は当ソフトにバグが発見された場合においても、その修正、バージョンアップの義務を負わないものとします。

### 【お問い合わせ】

ご意見、ご要望、バグレポート等ありましたら以下までご連絡をお願いします。今後の参考とさせていただきます。

- Mail : h-vvbaa@ypost.plala.or.jp
- 開発者: ひでさん(Vectorへの登録ハンドネーム)